



豊総地第25号
平成19年4月20日

国土交通省道路局長 様

豊富町長 工藤 栄光



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

このことについて、別紙のとおり提出致しますので、よろしくお取り計らい
願います。

(総務課地域振興室地域振興係)

中期計画への意見について

豊 富 町

本町は、23,000haにおよぶサロベツ湿原を擁する「利尻礼文サロベツ国立公園」、効能豊かな泉質を誇る「豊富温泉」、「兜沼キャンプ場」など優れた自然環境、観光資源に恵まれた所です。

又、広大な土地や豊かな資源を背景に乳牛16,000頭余りを飼育している酪農と観光のまちです。

(具体的な意見)

◎基幹産業である酪農を中心に一次製品や加工品を道内外へ迅速に安全に、輸送するための規格の高い輸送路の確保が極めて重要であり、これにより付加価値の向上や市場の拡大、国際競争力を高めることが期待されております。

◎人口減少、少子高齢化が進み、国保病院の経営難と医師や医療従事者の不足による入院患者数の制限など医療過疎が深刻な問題になっております。

本町では、多くの救急患者が稚内、旭川などの高次医療が可能な医療施設に搬送されています。

遠距離のため、搬送時間が長く、生命を守るという点からも搬送時間の短縮が課題となっております。

◎国道40号線及び国道238号線は管内市町村へのアクセス道路として、極めて重要であり、観光資源、観光施設、イベントなどの連携を強め、サハリンを始め、オホーツク海から日本海へ広がる観光ルートの形成が必要になっております。

オホーツク海の浜頓別町から日本海の豊富町稚内への道々豊富浜頓別線と豊富停車場線の整備促進が課題となっております。

◎冬期間の郊外部の道路状況については、リアルタイムな道路情報の提供を頂きながら、道路環境の改善をして頂いている所ですが、市街地の除排雪について、交差点付近などに雪が山積みされることにより、車の左右の視界が狭まれ、交通事故の多発が懸念されています。特に歩道の除排雪について強化をお願いしたい。

又、国道40号線（豊富～芦川）と豊富バイパスの除雪精度の差があり、豊富町住民の多くは稚内方面に行く時は40号線を利用しており、従来の除雪体制をお願いしたい。

◎稚内市と旭川市を結ぶ天塩大橋について、狭隘で大型車輛が交差し、橋手前で停車している大型車輛がほとんどであります。幌富バイパス完成後の計画と関係するものと思いますが、完成までに相当年数が必要と思われ、交通事故など発生する前の対応が望まれます。

又、音威子府バイパスの事業推進について、天塩町、中川町、音威子府村は地吹雪、雪崩など走行条件が厳しい地域であります。天塩川沿いに蛇行した道路であり、運転者にとっては気の抜けない道路環境でありますので、バイパスの早期完成をお願いしたい。

◎北海道の道路は、広域に地域が点在しているために、分散していることは否定できないが、需要性ではなく、必要性の高さは他の地域に劣っていない。

過疎化、病院及び医師の不足、郵便局の集約化など格差を広げるやり方ではなく、必要な道路は整備しなければならない。